



学校だより

平成30年1月9日
練馬区立北町西小学校
校長 吉川 文章
第660号

自他の命を大切にするための教育をさらに進めていくために

～ 道徳地区公開講座で ALS 患者の方を招いての道徳の授業を行います～

校長 吉川文章

新年あけましておめでとうございます。昨年は、本校の教育活動に多大なご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。本年は、開校60周年を迎える大きな節目の年となります。記念の行事を契機に本校の教育力がさらに高まる機会となるよう引き続きのご支援よろしくお願いいたします。

さて、PTA 運営委員会でもお知らせいたしましたが、本校の今年度の道徳地区公開講座の6年生の授業において、不治の病 ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者の方を招いての道徳の授業を行います。

そこで、ゲストティーチャーであるマカ（ペンネーム）氏についてご紹介をします。マカ氏は、自らが医療に従事をされている医療関係者の方です。ALS を発症した際に、医師から余命3年を告げられましたが、その後現在に至るまでに10数年ご存命でいらっしゃいます。これは、マカ氏が不治の病に冒される立場でありながら、常に前向きに生きておられるという「ポジティブな生き方」と大きく関係をしています。現在、マカ氏は、東京都内や他県の小学校で「命の授業」のゲストティーチャーをされています。また、さまざまな教育関係者に対して講演会の講師をされています。マカ氏の生き方が表現された「どうぞ」という著書は、命の大切やポジティブな考え方にあふれ、多くの人々の心を動かしています。マカ氏の子供たちへの言葉かけは、いたってシンプルです。

「自分や他人の命を大切にしてください」「いじめは絶対にしてはいけない」「壁にぶつかっても負けないで乗り越えていこう」「人生前向きに生きていこう」

このことは、我々、教員や保護者の皆様もふだんから子供たちに教えている教育の「基本中の基本」です。しかし、全ての子供たちの心根に届いているかというとそうではありません。シンプルであっても難しい課題でもあります。しかし、明日の命もわからない難病の当事者であるマカ氏方の言葉は一つ一つに重みがあります。それを聞く子供たちも表情は真剣そのものです。

実際にマカ氏の授業を受けた子供たちには明らかな変容が見られます。

「マカさんの授業があってから、今まで親任せであったことを全部自分でやるようになりました」「ポジティブという言葉をよく口にするようになりました面倒なことにも前向きにやるようになりました」

マカ氏の支援団体である「NPO ポジティブ・フロム・ジャパン」から11月にマカ氏の著書「どうぞ」を15冊寄贈していただきました。大変ありがたいことです。現在、マカ氏を万全の体制でお迎えし最大限の教育効果を生むために、事務局スタッフの方と幾度も打ち合わせを行いながら準備を進めています。6年生にも深い学びができるよう事前学習を行っています。卒業を控え希望と不安の入り交じったこの時期に、6年生には豊かな感性で多くのことを感じ取って欲しいと期待をしています。

本校は、「マカ氏の命の授業を受けた北西の卒業生は絶対に自殺をしない」を合い言葉にして、卒業に向けた「命の授業」として毎年、6年生にマカ氏の話聞く機会を設けていきたいと考えています。今回は、初めての取り組みであり、道徳地区公開講座に組み入れ全学年の保護者の方にも公開を予定しています。授業の後には30分ほど保護者や地域の皆様との意見交換会も予定しています。多くの方々の参観をお待ちしております。

持久走大会

体育的行事委員 佐藤 友美

11月21日(火)～12月8日(金)まで、体力向上旬間として、子供たちは持久走に取り組んできました。個人の目標だけでなく、持久走大会に向けた学級の目標も各学級で考え、学級として団結して練習に取り組みました。休み時間になると、校庭で毎日爽やかな汗を流す子供の姿がまぶしかったです。

北町西小学校では、児童の安全確保と、「無理のない速さで持久走をすること。」という学習指導要領の例示に基づき、動きを持続する能力を高めることをねらいとした時間走を行っています。一人一人持久力も体力も異なり、体調も日々変わることもありますが、子供たちは学級のめあて達成に向けて、懸命に練習をしました。

持久走大会当日は、友達やご家族からのたくさんの声援に包まれて、自分自身の記録と向き合い、それを超えようと懸命に走る子供たちの姿が見られました。

ご家庭の皆様にはたくさんのご協力を頂きました。ありがとうございました。



ユニセフ募金のお礼

特別活動部 小幡 貴司

12月4日～8日まで代表委員児童が朝校門に立ちユニセフ募金、エコキャップ運動を呼びかけました。

ユニセフ集会やチラシを見て世界の子供たちの現状を知り、自分たちにできることは何かを考えるきっかけになったかと思います。

募金額は35,695円、エコキャップもたくさん集まりました。

温かいご支援をありがとうございました。

エコキャップは、今後も児童昇降口で集めていきますので、ご協力をお願いいたします。



連合図工展

図画工作専科 石井 優絵

1月20日(土)から1月25日(木)まで、練馬区立美術館にて、練馬区小学校連合図工展が開催されます。詳しい日時などは、先にお配りしましたお知らせ等をご覧ください。

北町西小学校からも、子供たちのすてきな作品を多数出品予定です。是非会場をご覧ください。

書き初め展

書写担当 佐藤 友美

書き初めは、お正月に新年の目標や抱負などを書にしたためる行事で、通常1月2日に行われます。新年を迎えて机に向かって鉛筆を持った時や半紙に向かった時、子供たちは自然と背筋が伸びて「一字一字丁寧に、気合いを入れて書こう。」という気持ちになったことでしょう。

学校では、1月9日(火)から11日(木)にかけて学年席書会を行い、新たな気持ちで作品を仕上げます。毛筆の学年は、体育館にて、琴の音で新年の雰囲気を出しながら行う予定です。作品は1月13(土)日から1月31日(水)まで、各教室の廊下に掲示します。是非ご覧下さい。

特別支援教育コーナー

ことばの教室 学習発表会大成功

校長 吉川文章

去る12月6日(火)にことばの教室 学習発表会が開かれました。本校のことばの教室に通う全ての児童が一同に会して、日頃学んだことや身に付けたことを発表しました。当日は、保護者の方や各学校の校長先生、学級担任の先生で会場の家庭科室が満席となりました。

様々な学校から多くの児童が通ってくるので、リハーサルの時間はありません。いわゆる「ぶっつけ本番」です。緊張感がある中、1年生から6年生まで一人一人がもてる力を十分に発揮することができました。

内容もバラエティに富んでいます。個人発表あり、グループ発表あり。クイズあり、劇あり、特技あり、プレゼンあり。笑いあり、涙あり、感動あり。6年生になると、小学校で勉強するレベルをはるかに超えた内容の発表もありました。大人も初めて聞く知識の高さに驚きの声が上がりました。

本校の児童もがんばりました。誰もが、クラスの中で「挨拶」や「スポーツ」「勉強」などで光り輝く存在です。

改めて、個々の発達に照らし合わせた専門的な指導が実現出来ることばの教室での教育力の高さを感じる素晴らしい発表会でした。



60周年記念行事コーナー

周年対策委員長 齋木 義仁

10月のバザーでは、多数の皆様からご協力とご尽力を賜りましてありがとうございました。開校60周年記念式典、祝賀会の日にち(確定) 当日の時程(案)をお知らせいたします。

<日時・場所>

平成30年10月6日(土) 10:00~11:00 (受付 9:30~)

北町西小学校 体育館

<記念式典次第> 5、6年児童参加 (10:00~11:00)

開式の言葉	10:00~
国歌斉唱	
区歌斉唱(1~3番)	
学校長式辞	10:10~
来賓祝辞 ・ 練馬区長 ・ 練馬区議会議員 ・ PTA会長	10:15~
来賓紹介	10:30~
児童の喜びの言葉	10:40~
校歌斉唱	10:55~
閉式の言葉	11:00~
終了後、金管バンド演奏披露(校庭)雨天中止	11:15~11:30

<記念祝賀会> 12:30~16:00 (体育館)

内容については、実行委員会で検討中です。

1月の行事予定

9日	火	3学期始業式 午前授業（給食開始） 登下校重点指導日
10日	水	学習補充教室
11日	木	発育測定（6年）
12日	金	児童集会（クラブ紹介） 発育測定（5年） 委員会活動
13日	土	学校公開（3時間） 道徳授業地区公開講座
15日	月	発育測定（4年）
16日	火	発育測定（3年）
17日	水	発育測定（2年） 校内書き初め展開始
18日	木	発育測定（1年） 保護者会（4, 5, 6年）
19日	金	保護者会（1, 2, 3年）
20日	土	連合図工展（練馬区立美術館） 25日まで
22日	月	午前授業（給食有り）
24日	水	午前授業 校内研究会（5校時 4年2組）
25日	木	B時程
26日	金	体力向上旬間開始
27日	土	連合書き初め展
28日	日	連合書き初め展
29日	月	たてわり遊び（短縄）
30日	火	セパタクローゲストティーチャー（3～4校時 5, 6年）
31日	水	社会科見学（6年） 校内書き初め展終了

スクールカウンセラー 来校予定

1月11日（木） 18日（木） 25日（木）

詳細は副校長にお問い合わせください。TEL 3932 - 7234